

NEWS RELEASE www.jogmec.go.jp

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

問合せ先： 備蓄企画部国際課 秦 TEL:03-6758-8219
広報担当： 総務部広報課 乾 TEL:03-6758-8106**ASEAN 諸国のための石油セキュリティ構築支援研修(課長級)を実施
～人材育成により、ASEAN 諸国の石油備蓄体制整備に協力～**

JOGMEC(本部:東京都港区、理事長:黒木啓介)は、8月7日(月)から8月10日(木)の期間で、経済産業省資源エネルギー庁と協力し、ASEAN諸国の石油政策を担当する課長級幹部7名を招聘し、「ASEAN 諸国のための石油セキュリティ構築支援研修(課長級)」を実施しました。本研修は、JOGMECによるASEAN諸国の石油備蓄体制整備への協力、働きかけの一環として平成27年度から開始し、今回で4回目の実施となります。

ASEAN諸国の石油需要が今後も増加を続けることが見込まれる状況をふまえ、ASEAN諸国は石油備蓄体制の強化等を含む石油セキュリティの構築に向け、努力を進めています。

世界的な石油供給途絶時を想定した場合、日本を含むアジア地域全体のエネルギーセキュリティを向上させるためには、ASEAN諸国の石油備蓄体制の強化等を含めた石油セキュリティを構築することが重要です。そのためJOGMECは、ASEAN諸国の石油備蓄体制整備等に対して協力、働きかけを行っています。

本研修では、ASEAN 諸国から参加した石油政策を担当する課長級幹部7名に対し、グローバルな石油セキュリティ、アジアワイドの石油セキュリティ、日本の石油セキュリティ政策、日本における国家石油備蓄基地の建設と操業、国際石油業界視点の備蓄などについての研修を行ないました。加えて、国家石油備蓄陸上・地下備蓄基地の現地視察を行い、また、ASEAN 諸国における石油備蓄を含む石油セキュリティの構築に向けた取組状況、現状の課題や今後の協力の方向性についての意見交換等を行いました。

さらに、国際エネルギー機関(IEA)、ASEAN Center for Energy(ACE:石油備蓄等 ASEAN エネルギー協力の事務局)の参加も得て、グローバルな石油セキュリティ、ASEANにおける石油備蓄のあり方や石油供給途絶時の対応などについて、現状の課題や今後の協力の方向性の意見交換等も行いました。

2016年9月にミャンマー・ネピドーで開催されたASEAN+3(日本、中国、韓国)エネルギー大臣会合での大臣共同声明では、同年8月に東京で開催した局長級向けの研修について留意されており、また本年5月にフィリピン・マニラで開催されたASEAN+3石油ロードマップ会合においても、本研修は高い評価を得ております。

JOGMECは、今後もこうした研修等を通じ、ASEAN 諸国の備蓄体制整備への協力、働きかけを推進すること等により、我が国のエネルギーセキュリティの向上に貢献してまいります。

■ 研修の概要

- 1) 名称: ASEAN 諸国のための石油セキュリティ構築支援研修(課長級)
- 2) 実施期間: 8月7日(月)~8月10日(木)
- 3) 参加者: ASEAN 諸国の石油政策を担当する課長級幹部 7名(カンボジア、マレーシア、ミャンマー、タイ、ベトナム、シンガポール、フィリピンの計7カ国)、IEA、ACE、APERC 他
- 4) 場所: JOGMEC 東京本部、経済産業省、むつ小川原国家石油備蓄基地、久慈国家石油備蓄基地等

■ 研修の写真



JOGMEC 理事長表敬訪問



むつ小川原国家石油備蓄基地視察



久慈国家石油備蓄基地視察